

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第 4号
(令和4年 5月)
文責 西澤 庄藏



田平中学校・佐世保特別支援学校北松分校「合同」体育大会を開催しました。

5/1(日)午前だけの短縮版ではありましたが、体育大会を開催しました。合同開催2年目で、事前企画から連携して、両校の校旗を掲げたり校歌を歌ったりするなど「一味加わった」大会をめざしました。

当日は、児童生徒一人一人の頑張り先生たちの熱い思い、保護者の方々の温かいまなざしに見守られ、多くの気迫あふれる競技が展開されました。それぞれが得意不得意はあるものの、最後まであきらめずに、走ったり演技したり連続でした。中でも、全員が出場する100m走・徒競走で、ゴール間際で差がついた場面であっても、ゴールする瞬間まで力を抜かなかった選手に、健闘を称える大きな拍手が送られていたことが印象に残りました。必死になって駆け抜ける選手が大変格好良く映りました。

また、校舎の一角に、スローガン「躍進 ～未来へのステップ～」を記したパネルを掲示して大会を印象づけました。ここにも田平中学校生徒の活躍を見た思いです。

開・閉会式での実行委員長、生徒会長、それぞれの原稿なしで堂々としたあいさつも、今大会での着実な成長を感じた1コマでした。やり遂げたことを自信にして次のステップに弾みをつけてほしいと思います。

この体育大会は「みんな」で一つのことを創造するかけがえのない学校行事でした。たった半日で終わるイベントであっても、その計画や準備に莫大な時間を費やすことを、生徒一人一人が実感したことと思います。私も含めて「みんな」が、これまでの苦勞が達成感にかわったものと思います。

結びに、駐車場係に携わっていただいたり(後始末の時間が割愛されたことを察して)テントの後始末を加勢してくださったりと、多くの保護者の皆様にご支援いただいたことに改めて、この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。



開会式直後の「デンマーク体操」から



全学年「100m走・徒競走」から



学年種目「もっともっと竹もつと」から

佐世保特別支援学校北松分校(以下、「北分」)の参加態度も見事でした。写真は「一緒に踊ろう ソーラン節」の様子です。小学部児童の楽しそうに体全体で表現する態度、中学部生徒の練習を重ねたことが分かる確実な演技態度、どちらも目が釘付けになるものでした。「一緒に踊ろう」のタイトルどおり、応援席で田平中学校生徒が、「北分」テントで保護者の方々が、それぞれ一緒に踊る姿も見られ、会場が一体となる場面が展開されました。ほかの競技も同様で、昨年度以上に躍動する児童生徒の姿が、共同開催を印象付けるものとなりました。



これぞ、学習の成果発表にふさわしいソーラン節演技でした。

自転車運転者講習会を開催しました。学ぶべきことが多い実りある講習会でした。



数日前に自転車点検があり、整備状況を確認した上で、講習に臨みました。

4/27(水)放課後、自転車通学生徒を対象に自転車運転者講習会を開催しました。自転車の交通ルール遵守の徹底を目的に、平戸警察署交通課の方々をお招きして、その道のプロによる直接指導を受けました。

当日は、交通ルールの確認とともに、安全運転を体得するため、さまざまな運転技術に関する講習がありました。短時間での講習でしたので、技術定着のためには、繰り返すことが必須で、定期的な開催の必要性も感じた身の引き締まる学びの場でした。